



## ・初任者研修 ～授業基礎研修Ⅴ【中学校】～ ・新任用教頭研修

平成24年8月27日(月)

教科指導の在り方や教科経営についての研修を通して、授業における指導力の向上を目指し、初任者による模擬授業及び、新任用教頭・指導教員が参加しての研究協議を行いました。



### 授業者から

授業者が工夫点や本時について悩んでいることなどを説明しました。



- ◆ 生徒がつまずきそうな部分について、ある程度予測していたにもかかわらず、的確に指導することができなかった。
- ◆ 本時に取り組むべき中心課題の設定を十分に絞り込むことができていなかったため、生徒の活動時間が確保できず、教え込みの授業になってしまった。

### ワーク ショップ



参加者から、黄色の付箋を拡大指導案のその場面に貼りながら「よかった点」を、緑色の付箋を貼りながら「気がついた点」をあげてもらい、シェアリングを行いました。

- ◆ 数学的な定理を導き出すために、実際に目で見えて理解できるような手立てを行い、班を有効に活用できていた。
- ◆ ワークシートを有効に活用し、個人思考を深め、班での活動を活発にすることができていた。
- ◆ 教師がしゃべりすぎる。もう少し生徒の活動に任せてみてよいのではないか。
- ◆ 授業で使用する実物教材は、その授業の目的を達成するために本当に必要であるかをしっかり検討し提示する必要があるのではないか。

### 講 評



新任用教頭・指導教員から講評と、初任者が述べた工夫点への評価や悩みへのアドバイスをいただきました。

- ★ 話し方のテクニックを磨いて欲しい。言葉に強弱をつけることも必要。問題解決の力を生徒自身につけさせることも仕組んでいこうと考えて欲しい。
- ★ 活動を取り入れた後の思考が重要である。まず楽しみ、その次に「わかった！」となるような授業を心がけるようにしたらよい。
- ★ 実技をとまなう教科の場合は、授業の中でしかできない授業となるよう心がける。
- ★ 授業の中心部分を達成するために、どうするのかを考え、その上で導入や展開を組み立てていくことが必要である。
- ★ 授業で勝負して欲しい。授業力を磨くことによって、教師も生徒も伸びていく。そのためには授業研にも積極的に取り組むことである。熱意は、必ず生徒に伝わるはずである。

### 振り返り



授業者が学んだことを報告しました。

- 1時間の授業の目標を明確にし、そのことを中心に考えていくことが大切であることがわかった。
- 生徒へのかかわり方について、他教科の先生の授業を見ることで再確認できた。また自分が生徒役になることで、生徒のつまずきやすい部分を考えることができた。
- 2学期に向けて、今の自分の課題について他の先生からの確かな指摘をいただき再認識するとともに、その手立てを考えるヒントをたくさんいただいた。

# ・初任者研修 ～授業基礎研修Ⅴ【小学校】～ ・初任者研修指導教員研修会

平成24年8月28日(火)

模擬授業や研究協議(初任者、初任者研修指導教員、担当主事)を通して、教科指導の在り方や教科経営について研修することによって、初任者の授業における指導力の向上を図りました。

## 1 模擬授業の様子



児童役も真剣そのもの



電磁石の実験も白衣もばっちり



発表も積極的に



児童役に向けて熱心に説明

## 2 授業者の工夫(小学校2年生 国語「ビーバーのダム工事」より)



材料を動かしダム作り

本時の目標は、「ビーバーがダムを作る順序を読み取る」こと。目標を達成するため、また確認するために、次のような工夫(手立て)があった。

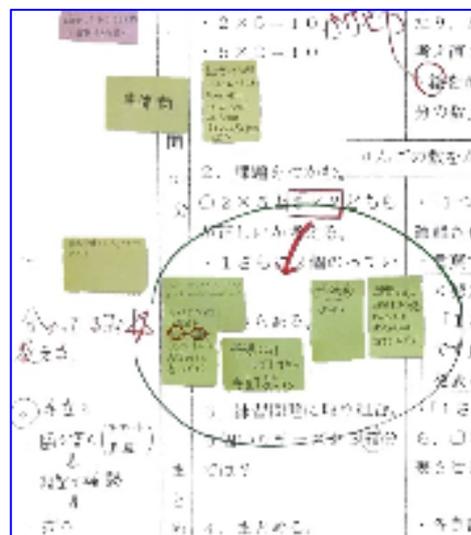
- 工夫① 主語を、「ぼくは」「わたしは」に置き換えて音読させることで、ビーバーの行動を表す言葉をつかませるようにしている。
- 工夫② 順序にそって、模型を使い確かめる。実物の模型のほかにも、順序を確認できるように、ダム作りの材料(木、小枝、石、どろ)を1つずつ動かすことのできる絵(左の写真)も準備している。
- 工夫③ 本時のまとめでは、児童がビーバーになって、ダム作りの順序を動作化して確かめるように学習活動を組んでいる。



## 3 ワークショップ(◆)と講評(★)

- ◆ 手順をていねいに指示できていたので、子どもは次に何をすればいいのかがよく分かった。板書も短く分かりやすくまとめられていた。
- ◆ チェック表を準備しているのがいいと思う。児童同士が確認し合うことで、児童同士の交流が進むのではないかと思った。
- ◆ 初めての単元に入って、初めて習う用語が出てくるので、用語の押さえをしっかりとすることが大切だと思う。

★ 本時の目標を達成するために、何を学習していかなければならないのか、本時のまとめから、導入にさかのぼって学習活動や必要な手立てを考えていくことも大切だ。



拡大指導案で付箋をもとに構造化

## 4 振り返り

- 実際に模擬授業をすることで、十分でないところがあることに気がつくことができた。また、他の先生にもアドバイスをいただくことで、自分だけだったら気がつかずにいたことを教えていただけたので、次の授業にいかしたいと思った。
- 模擬授業をして、自分の課題がはっきりした。授業をどのように進めるか、もやもやしたところもあったので、もう一度見直しをする視点を与えていただいた。教えていただいたことをもとに、2学期の授業にいかしていきたいと思う。
- 他の人の授業を見て、言葉のかけ方や授業展開の仕方で学ぶことがたくさんあった。



充実したワークショップ

ご意見・ご感想等を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。